1. 平成29年度 事業結果概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水 産資源について、琵琶湖栽培漁業センター (山田筏種苗生産施設を含む)、琵琶湖周辺の水田およ び人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に 努めた。

特に、アユ資源については、平成28年度は近年類を見ない低水準であったため、平成29年度においても資源に影響を与える恐れがあることが危惧されました。このため、人工河川管理運用事業において、早期放流用の養成親魚として、通常の8トンの放流に加えて、緊急資源対策で10トンを安曇川人工河川へ追加放流しました。

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

- 1. 卵、ふ化仔魚(ふ化仔魚換算値で18,941 千尾)を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田542 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長26.0mmに成長した稚魚8,296千尾を琵琶湖へ流下させた。(国交付金、県補助事業)
- 2. 県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 2,009 千尾を 5 月に赤野井湾周辺の水田 50 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約 1 か月後の中干し時に 372 千尾が流下した。(県受託事業)
- 3. 体重 20.1g の大型種苗 875 千尾を栽培漁業センターおよび草津市北山田地先筏施設で生産し、10 月から 12 月にかけて琵琶湖全域に放流した。(国交付金、県補助事業)
- 4. 体重 14.2g の大型種苗 76 千尾を滋賀県漁業協同組合連合会より購入し、10 月に琵琶湖北湖に 放流した。(独自事業、一部寄付金充当)
- 5. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に ALC 標識を付け放流した。春・冬季に漁獲魚の標識調査を行った。(国交付金、県補助事業)

特に、北湖において冬季漁獲物標識調査による放流魚の混獲率は48.9%(前年は29.7%)と推定された。漁獲魚は3才~4才が主であった。

6. 各種団体の放流用種苗 2,679 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1. 水田放流(流下数)	26.0mm 8,296千尾	20.0mm 8,000千尾
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm 2,009 千尾	5.0mm 2,000千尾
3. 大型種苗生産放流	20.1g 875 千尾	20.0g 900千尾
4. 大型種苗購入放流	14.2g 76 千尾	20.0g 75千尾
5. 標識調査(混獲率(調査尾数))		
春季南湖漁獲物	79.6% (245 尾)	
冬季北湖漁獲物	48.9%(1004尾)	
6. 放流用種苗の生産	2,679 千尾	2,000 千尾

(2) ホンモロコ増殖事業 (県受託事業)

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

- 1. 卵、ふ化仔魚(ふ化仔魚換算値で32,613 千尾)を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田908 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長22.6mmに成長した稚魚10,436 千尾を琵琶湖 へ流下させた。
- 2. 県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 2,060 千尾を 5 月に赤野井湾周辺の 水田 67 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約 1 か月後の中干し時に 438 千尾が流下 した。
- 3. 平均全長 20.0mmの稚魚 1,052 千尾を草津市北山田地先筏施設で生産し、6 月に南湖に放流した。

	実績計画	
1. 水田放流(流下数)	22.6mm 10,436 千尾	20.0㎜ 8,000千尾
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm 2,060千尾	5.0mm 2,000千尾
3. 南湖種苗放流	20.0mm 1,052千尾	20.0mm 1,000千尾

(3) 人工河川管理運用事業 (県受託事業)

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

- 1. 養成親魚 18 トンを 8 月末から 9 月上旬にかけて安曇川人工河川に放流した。
- 2. 姉川において天然親魚 0.2 トンを特別採捕し、9 月上旬から中旬にかけて姉川人工河川に放流した。

	実績	計画
1. 養成親魚放流	18トン	18トン
2. 天然親魚放流	0.2 トン	4トン

H29年度の流下ふ化仔魚尾数 38.5 億尾

(4) 湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、多様な琵琶湖の生態系を保全するため、以下の事業を行った。

- 1. ワタカ種苗を栽培漁業センターで生産し、6月に平均全長 45.6mm、11.4 千尾を彦根地先に、9月に平均全長約 200 mm、3.6 千尾を南湖に放流した。(独自事業(寄付金充当))
- 2. ワタカ種苗の放流の効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。(受託事業)

3. 水産多面的機能発揮対策事業を行う活動組織等の放流用種苗 223 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1.ワタカ種苗放流	45.6 ~200 mm 15千尾	50.0 mm 15千尾
2.標識調査(混獲率(調査尾数))	82.4%(261尾)	
3. 放流用種苗の生産	223 千尾	220 千尾

(5) セタシジミ増殖実証事業 (国、県補助事業)

セタシジミ資源回復を図る技術開発を行うため、実証事業を行った。

- 1. セタシジミの親貝 574kg を琵琶湖で採捕し、肥満度を上げるため富栄養な西の湖で垂下養成した。垂下期間中(平成29年2月から平成29年5月)の肥満度は約1.6%から約2.1%に増加した。
- 2. セタシジミの肥満度、稚貝の生息状況などを滋賀県水産試験場と共同で調査した。平成29年5月に西の湖より親貝放流試験区(近江八幡及び彦根市松原地先)へ肥育親貝52.7kgを再放流し産卵させた。その結果、親貝放流試験区の周辺では広い範囲で小型貝が増加していることが確認され、肥育親貝の産卵量も、琵琶湖に垂下した親貝に比べて5.6倍でした。

	実績計画	
1. セタシジミ親貝肥育飼育	574kg	600kg
2. セタシジミ放流効果調査	肥育、産卵、稚貝調査	肥育、産卵、稚貝調査

(6) 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および自然のままの産卵繁殖場を保全管理することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

- 1. 沿岸漁業整備開発事業により設置された増殖場(20 箇所) および南湖の砂地造成漁場(1 箇所) について、施設の機能維持と湖上事故防止のため、施設の破損や集魚状況等の確認、標識灯太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採等を行った。(県受託事業)
- 2. 水産業および漁村の有する多面的機能の発揮に資する活動を推進することを目的として設置された協議会の運営経費の管理を行うとともに活動組織への交付金を交付した。(受託事業)
- 3. 琵琶湖においてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、長浜市、彦根市、東近江市、近江八幡市、草津市、野洲市および高島市の計7箇所の魚のゆりかご水田水域において親魚の遡上産卵、仔稚魚の生育状況調査を行った。(独自事業)

	実績	計画
1.沿整增殖場等管理点検	21 箇所	21 箇所
2.水産多面的機能発揮対策協議会	会計事務の受託	会計事務の受託
3.産卵繁殖場の調査	7 箇所	6 箇所

(7) 水産加工業振興対策事業

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。(独自事業)

1. 「水産加工業振興対策資産」2億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。(平成29年4月~平成32年9月まで)

	実績	計画
1. 水産加工業協同組合資金貸付額 (利率)	2億円(利率 0.025%)	2 億円(利率 0.025%)

(8) 情報提供事業

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。 (独自事業)

- 1. 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。
- 2. インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。 http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake

	実績	計画
1.協会ニュース発行	150 部	150 部
2.ホームページ	随時更新	随時更新

1 ニゴロブナ

表1 ニゴロブナの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識	魚
			尾数(千尾)	 体型	尾数(千尾)	体型
水田放流						
	H29/5~6月	琵琶湖一円	8,296	26.0mm	2,149	26.0mm
	H29/5月	赤野井湾周辺	2,009*1	5.0mm	2,009*1	5.0mm
	育)					
	H29/6~7月	南湖	231.8		0	
大型種苗						
	H29/9~12月	南湖	288.2	20.3g	57.5	17.9g
		北湖	586.6	20.1g	218.7	18.0g
	H29/10月(購入)	北湖	76.0	14.2g		
	小計		950.8		276.2	

*1; ふ化仔魚数。2cmサイズの流下尾数は372千尾(滋賀県水産試験場調べ)

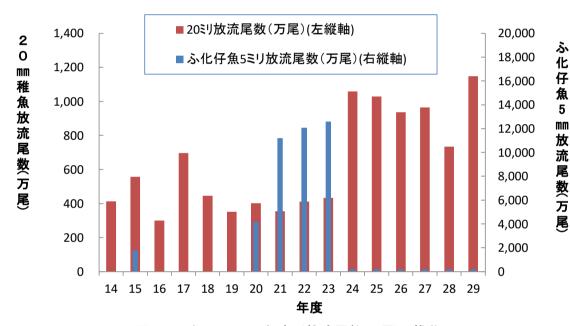


図1 ニゴロブナの年度別放流尾数(万尾)及び放流魚混獲率(%)の推移

表2 ホンモロコの放流結果

 放流群	放流月	放流場所	放流魚		標識魚	
			尾数(千尾)	体型	尾数(千尾)	体型
水田放流						
	H29/5~6月	琵琶湖一円	10,436	22.6mm	2,768	22.6mm
	H29/5月	赤野井湾周辺	2,060 ^{*1}	5.0mm	2,060 ^{*1}	5.0mm
2㎝種苗(飼育)						
	H29/6~7月	南湖	1,052	20.0mm	1,052	20.0mm

^{*1:} ふ化仔魚数。2cmサイズの流下尾数は438千尾(滋賀県水産試験場調べ)



5

図2 ホンモロコの年度別放流尾数(万尾)の推移

3 アユ

表3 養成アユ親魚放流結果(安曇川人工河川)

放流日	重量(kg)	尾数(千尾)	個体重(g)	此隹上上(%)	放流区画
•					
8月23日	3,600	187.5	19.2	49.5	2,3区
8月25,26日	1,800	51.9	34.7	48.7	4区
8月26,27日	1,800	80.0	22.5	46.2	1区
8月29,31日	1,800	85.3	21.1	49.3	5区
8月30日	900	31.7	28.4	50.6	7区
8月31日,9月1日	1,800	30.7	58.7	41.7	6区
9月2,3日	4,500	108.2	41.6	41.4	7,8,9区
9月4日	1,000	31.6	31.6	57.0	11区
9月6日	800	19.0	42.0	40.7	10区
合計	18,000	625.9	28.8	47.4	

表4 姉川天然特採アユ親魚放流結果(姉川人工河川)

放流日	重量(kg)	尾数(千尾)	個体重(g)	此隹上上(%)	放流場所
9月11~21日	190	33.7	5.6	53.9	姉川人工河川

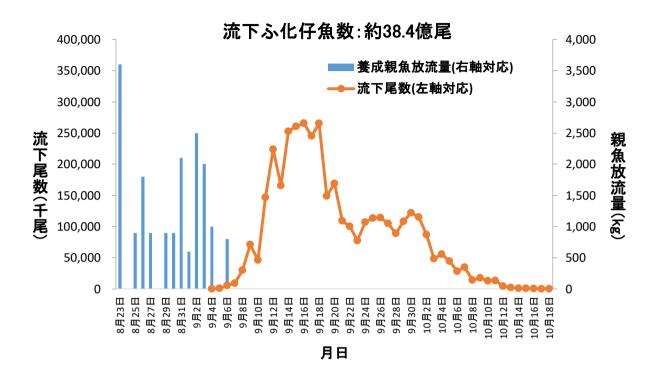


図3 安曇川人工河川 養成アユ親魚放流量と流下仔魚数の経日推移

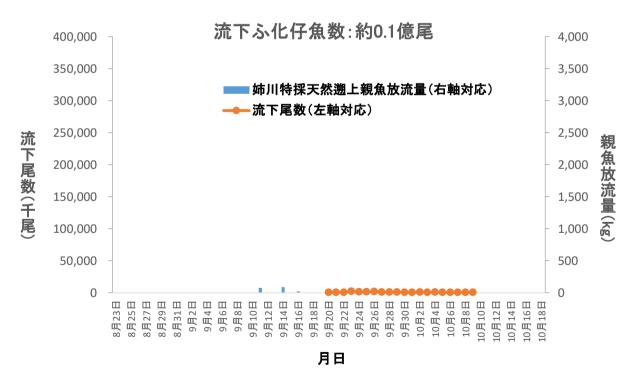
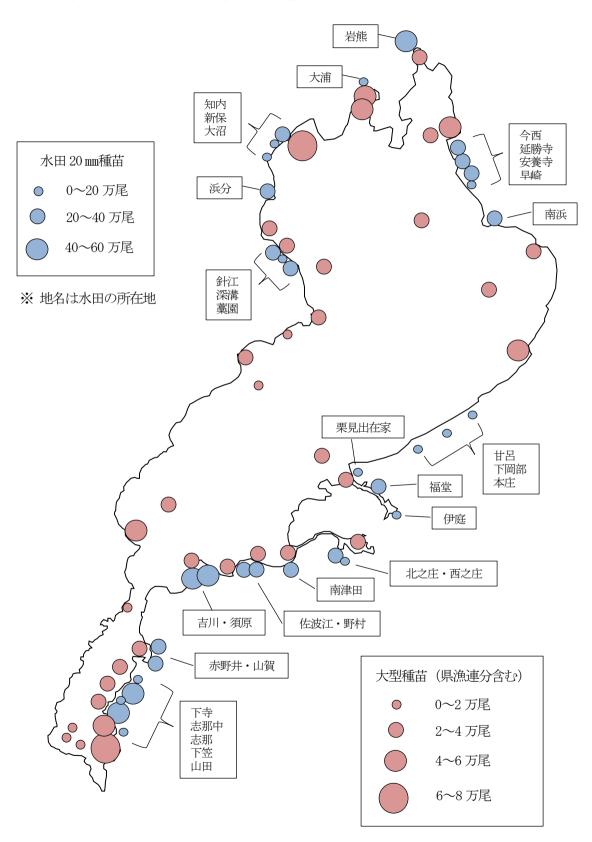


図4 姉川人工河川 天然特採アユ親魚放流量と流下仔魚数の経日推移

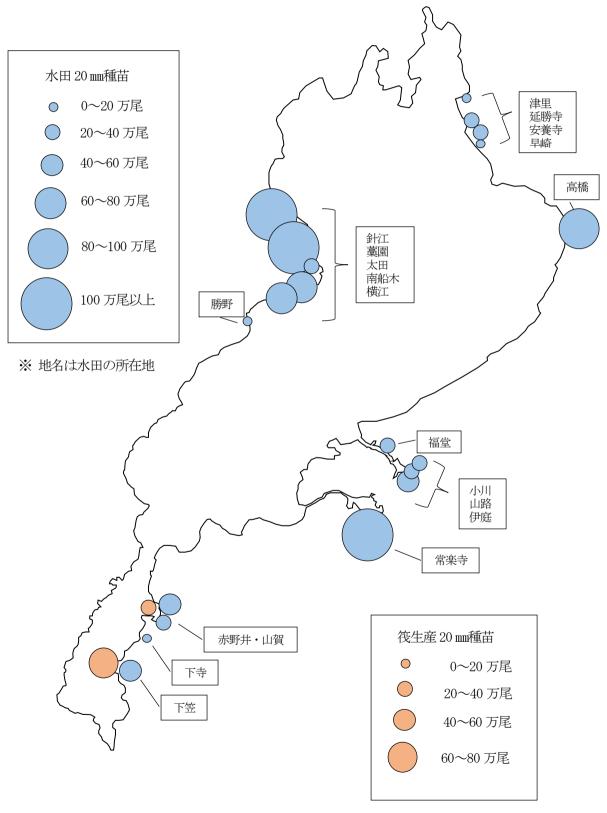
附属明細書 参考資料 1

平成29年度ニゴロブナ放流場所・放流尾数



附属明細書 参考資料 2

平成29年度ホンモロコ放流場所・放流尾数



貸借対照表

平成 30年 3月31日現在

(単価:円)

			(単価:円)
科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4, 567, 889	3, 989, 734	578, 155
未 収 金	5, 644, 100	5, 433, 800	210, 300
流動資産合計	10, 211, 989	9, 423, 534	788, 455
	10, 411, 909	9, 420, 004	100, 400
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資 有 価 証 券	11, 000, 000	11, 000, 000	0
基本財産合計	11, 000, 000	11, 000, 000	0
(2) 特定資産			
温水魚資源対策積立資産	867, 525, 879	889, 025, 879	-21, 500, 000
水産加工業振興対策積立資産	200, 000, 000	200, 000, 000	0
鮎 資 源 対 策 積 立 資 産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	29, 004, 445	27, 206, 930	1, 797, 515
特定資産合計	1, 106, 530, 324	1, 126, 232, 809	-19, 702, 485
(3) その他固定資産	1, 100, 000, 021	1, 120, 202, 000	10, 100, 100
建物	243, 986, 375	243, 986, 375	0
構築物	321, 936, 405	321, 936, 405	0
			0
	3, 090, 464	3, 090, 464	0
什 器 備 品	101, 408, 670	102, 311, 980	-903, 310
船	7, 700, 000	7, 700, 000	0
減 価 償 却 累 計 額	-549, 992, 079	-538, 842, 293	-11, 149, 786
電 話 加 入 権 📗	257, 227	257, 227	0
その他固定資産合計	128, 387, 062	140, 440, 158	-12, 053, 096
固定資産合計	1, 245, 917, 386	1, 277, 672, 967	-31, 755, 581
資産合計	1, 256, 129, 375	1, 287, 096, 501	-30, 967, 126
Ⅱ 負債の部			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1. 流動負債			
未 払 金	7, 551, 446	7, 628, 350	-76, 904
預り金	641, 738	394, 226	247, 512
が、	8, 193, 184	8, 022, 576	
	0, 193, 184	0, 044, 070	170, 608
2. 固定負債	00 004 445	07.000.000	1 505 515
退職給付引当金	29, 004, 445	27, 206, 930	1, 797, 515
固定負債合計	29, 004, 445	27, 206, 930	1, 797, 515
負債合計	37, 197, 629	35, 229, 506	1, 968, 123
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1, 088, 525, 879	1, 110, 025, 879	-21, 500, 000
(うち基本財産への充当額)	11,000,000	11, 000, 000	0
(うち特定資産への充当額)	1, 077, 525, 879	1, 099, 025, 879	-21, 500, 000
2. 一般正味財産	_, , . = . ,	_, , •=•, •-•	,,
一般正味財産合計	130, 405, 867	141, 841, 116	-11, 435, 249
(うち基本財産への充当額)	100, 400, 007	171, 071, 110	11, 400, 249
	0	U	0
(うち特定資産への充当額)	1 010 001 740	1 051 000 005	00 005 010
正味財産合計	1, 218, 931, 746	1, 251, 866, 995	-32, 935, 249
負債及び正味財産合計	1, 256, 129, 375	1, 287, 096, 501	-30, 967, 126

正味財産增減計算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円) 目 公益目的会計 法人会計 合 計 一般正味財産増減の部 1. 経営増減の部 (1) 経常収益 基 本 財 産 運 用 益 24, 200] [48, 400] 24, 200] [基 本 財 産 受 取 利 息 24, 200 24, 200 48, 400 定 資 産 運 用 益 4, 940, 747] [3, 530, 831 8, 471, 578 特 取 利 息 3, 530, 831 定 産 4, 940, 747 8, 471, 578 助 0] [補 金 25, 166, 000] [25, 166, 000] ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金 (県) 22,666,000 22,666,000 二枚貝資源緊急增殖対策事業補 助 金(国) 1, 250, 000 1, 250, 000 セタシジミ親貝放流技術開発事業費補助金(県) 1, 250, 000 1, 250, 000 0] [託 75, 448, 760 75, 448, 760] 受 費 ホンモロコ 資 源 回 復 対 策 事 業受託費 15, 876, 000 15, 876, 000 沿整 增 殖 場 管 理 点 検 事 業 受 託 費 2,075,760 2,075,760 赤野井湾ニゴロブナ・ホンモロコ種苗放流事業受託費 3, 298, 000 3, 298, 000 南湖ホンモロコ 標識種苗放流事業 受 託 費 3, 754, 000 3, 754, 000 人工河川管理運用事業受託費 49, 395, 000 49, 395, 000 水産多面的機能発揮協議会 運営事業 受託費 850,000 850,000 種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費 200,000 200,000 担 0] [受 取 3,000,000] [3,000,000] 負 受 取 分 担 金 3,000,000 3,000,000 付 受 取 寄 金 22, 700, 000] 0] [22, 700, 000 受 取 寄 付 1, 200, 000 1, 200, 000 金 受 取 付 振 額 寄 21, 500, 000 21,500,000 雑 収 益 5, 514, 740] 0] [5, 514, 740] 受 取 利 息 56 56 雑 収 益 5, 514, 684 5, 514, 684 136, 794, 447 経常収益計 3, 555, 031 140, 349, 478 (2) 経常費用 148, 229, 694] 事 業 費 148, 229, 694] [0] [役 員 報 酬 3, 447, 120 3, 447, 120 料 手 当 給 30, 128, 323 30, 128, 323 臨 時 雇 賃 金 4, 525, 232 4, 525, 232 福 利 厚 生 費 6,809,909 6,809,909 費 诵 費 旅 交 343, 455 343, 455 信 通 運 搬 費 386, 887 386, 887 41, 737, 601 原 材 料 費 41, 737, 601 消 耗 品 費 4, 798, 470 4, 798, 470 秋 稚 魚 購 入 費 3,000,000 3,000,000 修 繕 費 6,600,606 6,600,606 印 刷 製 費 本 16,530 16,530 燃 料 費 784,651 784,651 光 熱 水 料 費 9,831,578 9,831,578 賃 借 料 3, 940, 950 3,940,950 保 険 料 624, 629 624, 629 租 税 課 公 213, 400 213, 400 支 担 払 負 金 5, 570, 292 5, 570, 292 手 数 料 56,805 56,805 委 託 費 9,900,590 9,900,590 衛 生 費 40,050 40,050 消 費 税 1, 756, 809 1, 756, 809 退 職 給 付 費 用 1,727,412 1,727,412 減 償 費 価 却 11, 988, 395 11, 988, 395

	科	目			公益目的会計	法人会計	合 計
管		理		費	0]	[3, 555, 031]	[3, 555, 031]
役	員		報	酬		1, 011, 780	1,011,780
給	料		手	当		1, 177, 852	1, 177, 852
福	利	厚	生	費		356, 302	356, 302
会		議		費		4, 320	4, 320
交		際		費		33, 965	33, 965
旅	費	交	通	費		145, 015	145, 015
通	信	運	搬	費		14, 255	14, 255
消	耗		品	費		11, 172	11, 172
修		繕		費		110, 160	110, 160
印	刷	製	本	費		1,074	1,074
燃		料		費		244	244
光	熱	水	料	費		11, 497	11, 497
保		険		料		788	788
租	税		公	課		1, 650	1, 650
支	払	負	担	金		205, 654	205, 654
手	•	数	•	料		3, 370	3, 370
嘱		託		料		316, 440	316, 440
委		託		費		2, 090	2, 090
衛		生		費		2,602	2, 602
雑				費		9, 999	9, 999
退	職 絽	i f	寸 費	用		70, 103	70, 103
減	価	償	却	費		64, 699	64, 699
経常費用					148, 229, 694	3, 555, 031	151, 784, 725
評価損益等調整前当期経常増減額		-11, 435, 247	0	-11, 435, 247			
評価損益等計			0				
	当期経常増減額		-11, 435, 247	0	-11, 435, 247		
2.経常外増減の部							
(1) 経常外収	益						
経常外収益計			0	0	0		
(2) 経常外費	·用						
固定資	産除却損				2	0	2
什器	備品除却損				2	0	2
経常外費	用計				2	0	2
当期経	常外増減額				-2	0	-2
当期一般正味財産増減額		-11, 435, 249	0	-11, 435, 249			
一般正味財産期首残高		141, 841, 116	0	141, 841, 116			
一般正味財産期末残高			130, 405, 867	0	130, 405, 867		
Ⅱ 指定正味財産	増減の部						
一般正味財産への振替額			-21, 500, 000		-21, 500, 000		
当期指定正味財産増減額			-21, 500, 000		-21, 500, 000		
指定正味財産期首残高			1, 110, 025, 879	0	1, 110, 025, 879		
指定正味財産期末残高			1, 088, 525, 879	0	1, 088, 525, 879		
Ⅲ 正味財産期末残高			1, 218, 931, 746	0	1, 218, 931, 746		

(単位:円)

貸借対	対照表科目	場所·物量等		使用目的等	(単位:円) 金 額
(流動資産)					
	現金 普通預金		手元保管 滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として	11,801 4,321,127 234,961
				〈現金・預金計〉	4,567,889
	未収金	滋賀県補助金等	滋賀県農政水産部水産課	公益目的事業(補助金等)の未収金(9 件)	5,644,100
				〈未収金計〉	5,644,100
流動資産	合計				10,211,989
(固定資産) 基本財産					
	投資有価証券	投資有価証券 地方債		基本財産の運用益は公益目的事業費 および管理費に使用している。 50%を公益目的事業費、50%を管理費 に充てている。	10,000,000 1,000,000
				〈基本財産計〉	11,000,000
特定資産	温水魚資源対策				867,525,879
	積立資産	社債 地方債 外国債	SMBC 日興証券(株)京都支店 リ リ	温水魚資源対策積立資産は公益目的 保有財産として満期保有目的で保有 し、運用益は公益目的事業費および 管理費に使用している。	(199,940,000) (99,955,000) (50,000,000)
		社債 地方債	野村證券(株)大津支店 " "		(150,000,000) (80,000,000)
		地方債	滋賀銀行下笠代理店		(100,000,000)
		社債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 京都支店		(50,000,000)
		大口定期 大口定期	滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店		(10,000,000) (120,000,000)
		決済用普通預金 決済用普通預金	滋賀銀行下笠支店 関西アーバン銀行草津西支店		(7,411,906) (218,973)
	水産加工業振興 対策積立資産	水産加工業活性化資金 貸付金	滋賀県水産加工業協同組合	水産加工振興対策積立資産は公益目 的保有財産として保有し、水産加工業 振興対策事業の資金として使用してい る。	200,000,000 (200,000,000)
	鮎資源対策 積立資産	地方債	野村證券(株)大津支店	鮎資源対策積立資産は公益目的保有 財産として満期保有目的で保有し、運 用益は公益目的事業費に使用してい る。	10,000,000
	退職給付引当 資産	普通預金 大口定期 社債	滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店 SMBC 日興証券(株)京都支店	退職給付引当資産は職員の退職給与 金の財源として積み立てている。	29,004,445 (4,004,445) (15,000,000) (10,000,000)
その他				〈特定資産計〉	1,106,530,324
固定資産	建物	栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。	243,986,375 (88,750,000)
		栽培漁業センター・生産棟 用水機場・車庫・倉庫	IJ	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(155,236,375)
	減価償却累計額				-159,527,819
	構築物	栽培漁業センター・取水施設 養成池・給水施設	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	321,936,405 (236,526,005)
		筏 29基	草津市北山田町地先	公益目的保有財産であり、公益目的	(85,410,400)
	減価償却累計額			事業に使用している。	-279,656,882
	車両運搬具	フォークリフト1台 自動車3台	草津市志那町字柿根1393-2 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	3,090,464
	減価償却累計額				-3,013,639

貸借対	対照表科目	場所·物量等		使用目的等	金 額
	什器備品	管理棟内備品	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。	101,408,670 (6,758,000)
				使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。	
		生産棟内備品	II	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(94,650,670)
	減価償却累計額				-100,093,741
	船舶	作業船4隻	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	7,700,000
	減価償却累計額				-7,699,998
	電話加入権	077-568-3451 他3台 安曇川人工河川 姉川人工河川	高島市安曇川町北船木 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	257,227 (171,022)
		# 対		公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事	(86,205)
				業、3%を管理業務としている。	100 007 000
固定資産	<u> </u> 승計			〈その他固定資産計〉	128,387,062 1.245.917.386
資産合語					1,256,129,375
(流動負債)	未払金	沿整增殖場管理点検事業(委託費)	山田漁業協同組合他	公益目的事業および管理業務に係る 未払い分(20件)	7,551,446
				〈未払金計〉	7,551,446
	預り金	社会保険料 他	役職員	社会保険料	641,738
分配在 庫	A = 1			〈預り金計〉	641,738
流動負債 (固定負債)	百町				8,193,184
	退職給付引当金		職員	公益目的事業および管理業務に従事 する職員の退職引当金である。	29,004,445
				〈退職給付引当金計〉	29,004,445
固定負債					29,004,445
負債合語 正味財産					37,197,629
- L DE 877	¥				1,218,931,746

役員名簿

(平成30年6月現在)

任期: 平成30年6月6日~

平成32年の定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名
理事長	西嶋栄治
常任理事	澤田喜之
理事	礒 﨑 和 仁
11	奥村繁
11	齊 藤 秀 和
"	澤田宣雄
"	中 川 豊 彦
"	中嶋信夫
監事	遠 藤 満 夫
"	山 田 実
11	四 谷 廣一郎

任期: 平成28年6月24日~ 平成32年の定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名
評 議 員	佐 野 高 典
"	髙 橋 滝治郎
11	藤井恒夫
11	堀 越 昌 子
"	松岡正富
"	三田村 慎 三
"	望月幸三
"	山 中 治
"	横江次郎